

(52) 新焼結工場の概要とその高炉諸元への効果

住友金属小倉製鉄所

坂本大造 西郷和夫  
平原弘章・芳木通泰

1 緒言

小倉では、S41年10月に新焼結工場が稼働を始めた。それに従って、高炉に於ける焼結配合比は、40%台から80%近く這上り、高炉生産諸元は大中に改善された。そこで新焼結工場の概要及び操業経過と、新焼結工場稼働後の高炉操業実績をまとめて報告する。

2 新焼結工場概要

2.1 設備概要 新焼結工場の設備概要を表1に示す

表1 新焼結工場設備概要

設備名		仕様能力	設備名		仕様能力
焼結機	型式	Dwight-Lloyd式 Koppers型	臭火炉	型式	直火加熱式
	公称能力	3,000%		燃料	B72+重油
主排風機	有効面積	85m <sup>2</sup> (24.85m x 34.20m)	冷却機	型式	扇形ローラー直線型 強制通風吸引式
	型式	両吸込翼型7-1707-		有効面積	111.44m <sup>2</sup> (2.8m x 39.80m)
	风量	8000 m <sup>3</sup> /min -1250 m <sup>3</sup> /min 120%		排風機	6000 m <sup>3</sup> /min x 3台

2.2 自動制御関係 新焼結工場では次のよ

うな自動制御を計画し、一部実施に移している。

- a サージホッパーレベル制御
- b 配合原料水分制御
- c 装入層厚制御
- d パレット速度制御

2.3 操業実績 稼働開始後の操業実績を表1図に示す

1図に示す

3 新焼結工場稼働後の高炉操業実績

高炉では、新焼結機使用開始後出鉄量増大、燃料比低下、鉄中S低下、ダスト量減少、等操業実績は大中に向上した。この間の1, 2 BF通算の操業実績を表2図に示す。特に出鉄量の伸びは著しく、1.5 T/m<sup>2</sup>から、1.8 T/m<sup>2</sup>へと増大した。

4 結言

S41年10月に新焼結工場が稼働を始め、その後順調に稼働している。それによって高炉での焼結配合比は80%近く這上り、高炉操業諸元は大中に向上した。

表1図 新焼結工場生産及稼働状況

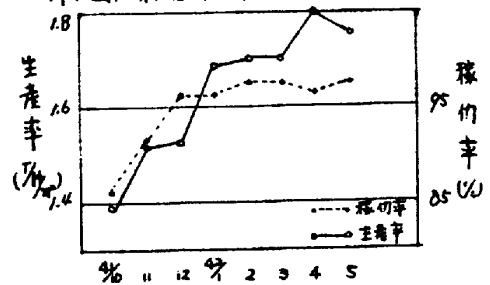


表2図 1,2BF通算操業実績

